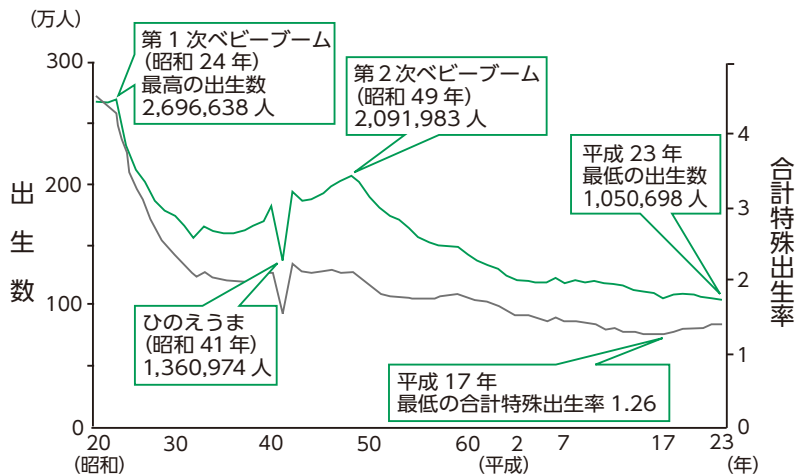


Q どうして日本の人口は減り続けているの？

A 地域によって状況や原因はさまざまだけれど大きな原因は出生数の減少なんだ

日本では、毎年多くの人が東京都市圏に移り住んでいるんだ。その大半を占めるのが働き手である若い世代。東京のような大都市圏は、高い物価や待機児童の問題などがあって、若者が少なくなっているんだ。

結婚や出産、子育てをしにくい環境だから、地方に比べて出生率が低いんだよ。若い世代が東京圏に集中することが日本全体の人口減少につながっていると考えられているんだ。



▲日本の出生数と合計特殊出生率 (内閣府ホームページから抜粋)
第2次ベビーブームをピークに減少し続けている出生数と*合計特殊出生率。原因は地域や個人でさまざまだが、東京への人口集中と非正規雇用の増加による既婚者の減少が大きく影響している。

「地方創生」は、人口の減少を食い止めることやそれぞれの地域で住みやすい環境を整えること、そして日本が元気であり続けるための取り組みです。

では、なぜ人口が減っているのか。「地方創生」の取り組みとは何をするのか。岡垣町にも関係あるのか。

びわりんが「地方創生」のことをよく知るびわすけに聞いてみました。

問い合わせ 企画政策室へ

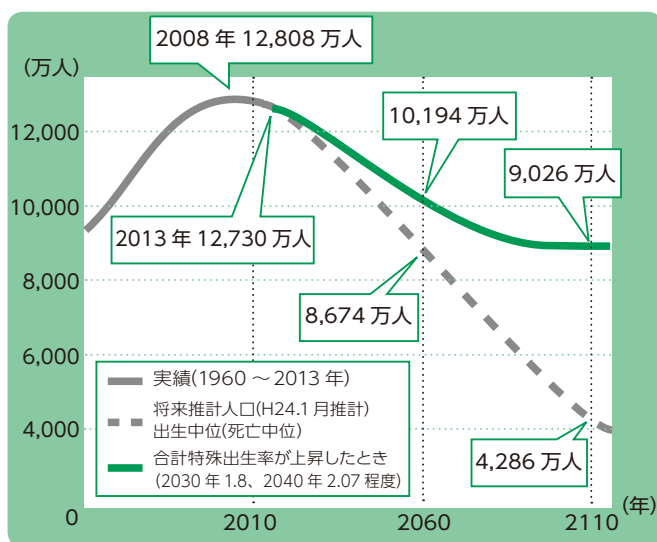


Q 人口が減り続けるとどうなるの？

A 働く人や消費が減り、税収も減少。その結果、地域で生活できなくなり、日本経済が衰退してしまうんだ

2008年に始まった日本の人口減少は、今後ますます進むことが予測されているんだ。このまま進むと、2050年に6割以上の地域で人口が半分以下になり、2060年には8千674万人まで減ることが予測されているよ。

人口が減り続けると、働く人や品物・サービスを消費する人が少なくなる。そうすると、地域の税収が減るから、年金や医療保険などの公共サービスが維持できなくなってしまう。その結果として、日本全体の経済が衰えてしまうんだ。



▲日本の人口推計 (内閣府ホームページから抜粋)

*合計特殊出生率 一人の女性が一生の間に産む子どもの数の平均値

■「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の3つの視点

人口の東京一極集中を改善

就労・結婚・子育てなど若い世代の希望を実現

地域の特性に合わせて課題を解決

国は地方創生で、3つの視点で取り組むことをまとめたんだ。

東京への人口集中を改善、若い世代の就職・結婚・出産・子育てをしたいという希望が実現すると、出生率が1.8くらいに上がると見込まれているよ。出生率が上がって、人口減少に歯止めがかかれば2060年には1億人くらいの人口が保たれて、高齢化率も低くなると考えられているんだ。

それから、人口減少による問題は、大都市や地方都市など地域によってさまざまだから、地域が抱える問題を、その特性に合わせて解決していこうと考えているんだよ。

Q 国はこれからどうしようかと考えているの？

A 東京への人口集中を解消し、若い世代の就労や結婚、出産への希望を実現することなどを目指しているよ。

「地方創生」ってなに？

Q じゃあ具体的には何をやるの？

A その取り組みをまとめたのが「まち・ひと・しごと創生総合戦略」。4つの目標を実現しようと考えているんだ

若い世代の多くは、就職を求めて大都市に転入しているんだ。だから、地方で若者が働きたいと思うような仕事を生み出して、地方で暮らしてもらおうと考えているんだ。

欲しいと思ってるけど、理想と現実には差があるんだ。だから、結婚したい人が安心して結婚できて、子どもを産めるようにすることも目標にしているよ。

東京周辺への人口集中は海外の首都圏と比べてとても高く、これからもさらに進むことが予測されているんだ。これを食い止めるために、東京周辺と地方の人口の差をなくすことも目指しているよ。

最後に、人口が減ると税収が減って、市町村が生活に必要な行政サービスや公共施設を維持できなくなるかもしれないんだ。大都市では、医療や介護を必要とする高齢者が増えることも予測されていて、それぞれの地域の状況に合わせた取り組みを進めて課題を解決しようと考えているんだ。

さらに、国の調査では、未婚者の約9割は結婚したいと思っていて、結婚している人は2人以上子どもがいる

これって岡垣町も関係あるのかしら？

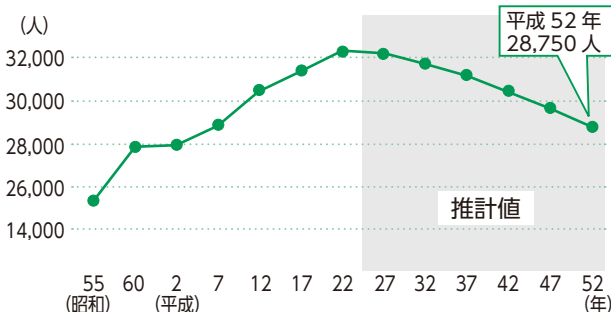
Q 岡垣町の人口は どうなっていくの？

A 今はほぼ横ばいの状態だけど、今後減少することが予測されているよ

これまで岡垣町は住宅団地の開発や福岡市・北九州市のベッドタウンとして、子育て世代のファミリー層が転入してきたから人口が増えていたんだ。でも、住民基本台帳の人口は、平成22年をピークに減り始めていて、国の機関が発表した推計では、平成52年に2万8千750人まで減少すると予測されているよ。

岡垣町では、死亡数が出生数を上回っているけど、町外からの転入が増え続けているから人口は増えてきたんだ。ところが、平成22年ごろから転入者と転出者がほぼ同じ

人数になったから、死亡数と出生数の差で減っていく人口を補えなくなって、町全体の人口が減り始めたんだよ。



(図1) 岡垣町の人口推計
参考：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計

岡垣町はどんな取り組みをするんだろう？

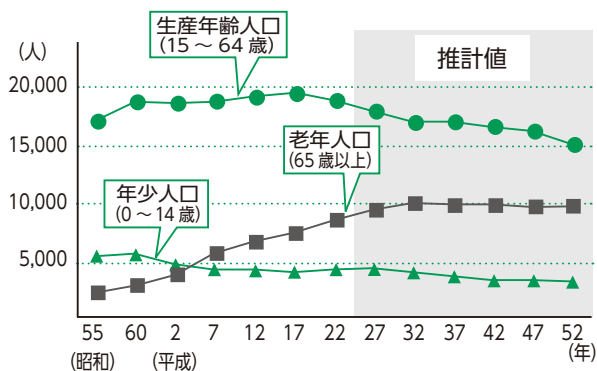


岡垣町も人口減少の危機!?

人口減少は岡垣町でも深刻な課題なんだ



(図2) 岡垣町の区分別人口推計
参考：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計



町の活力もいえる若い世代が減っていくのは深刻な問題なんだ。

町の活力もいえる若い世代が減っていくのは深刻な問題なんだ。

町の活力もいえる若い世代が減っていくのは深刻な問題なんだ。

A 町の活力もいえる若い世代が減っていくことが問題なんだ

Q 人口減少のほかに何か問題はありますか？

(図2)を見ると15~64歳の生産年齢人口は、平成17年をピークに減少傾向に転じているよね。65歳以上の老年人口は増加、0~14歳の年少人口は減少傾向に転じているよ。

少人口は少しずつ減少している、この状況は、将来の人口推計でも同じ傾向が続くと予測されているよ。

そのほか、平成25年の転入者と転出者を年齢ごとに見ると、10歳代後半から20歳代は、転出者数が転入者数を大きく上回っていて、若い世代が町外に転出しているんだよ。

びりんとびわすけから

町長に質問！

Q 町はどんな取り組みを考えているんですか？

A 人口が増えなくても町民が豊かで安心して暮らせる魅力あるまちづくりに取り組んでいきます

町では、今後5年間で重点的に取り組むことを具体的にまとめる作業を進めています。この中で、人口を増やすだけではなく、人口が増えなくても町民が豊かで安心して暮らせる魅力あるまちづくりを進めていく



Q 岡垣町の強みって？

A 「豊かな自然」や「おいしい水の供給」。大切なのは岡垣町にしかない良さを生かし守っていくことです



Q 町に住む私たちにできることは？

A 人口減少の問題を自分自身のこととして受け止め、どうすればよいか考えることが大切です

現在、経済界や金融・教育機関、マスコミなどさまざまな分野の関係者から、これから取り組む内容について広く意見を聞いています。そして、最も大切なことは町に住む皆さんの意見です。まずは、今日話した人

口減少の問題をしっかりと受け止めて、今後の岡垣町のことを自分自身のこととして考えてみてください。私たちのかけがえのないふるさとのために何をすればいいのか、これから一緒に考えていきましょう。

■まちづくりの満足度上位項目

三里松原、波津海岸、湯川山など豊かな自然環境のよさ

地下水源を守り、安全でおいしい水の供給

広報おかがきなど町の情報提供の充実

下水道整備や合併浄化槽の普及による環境衛生の充実

今年行った住民アンケートでは、約78%の人が「住みやすい」と答えています。また、普段の暮らしの中で満足度の高い内容も、豊かな自然やおいしい水などが上位になっています。さらに、福岡・北九州両都市の中間に位置していて、交通の便にも恵まれています。このような岡垣町の良さを生かし「ちょうどいい暮らしができるまち」「住み続けたいまち」として多くの人に定住の地として選んでもらえるまちづくりを進めていきます。

皆さんの意見聞かせてください

町では現在「岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案を作成しています。

1月中旬から、町の取り組みに対する皆さんの意見を募集する予定です。意見募集の時期や手続きなど、詳しい内容は、広報おかがきや町公式ホームページでお知らせします。



よろしく
お願いします

